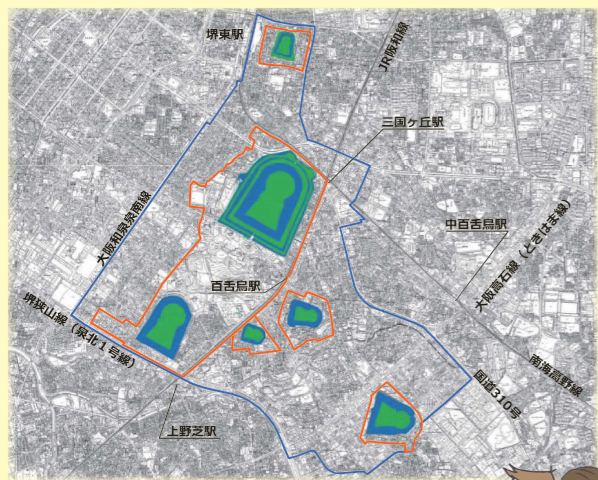


申請が必要な景観地区の区域



①古墳近傍景観形成地区
②古墳群周辺市街地景観形成地区

地図をみると、僕たちの家は「古墳近傍景観形成地区」になるから、戸建住宅でも申請がいるんだね。

①古墳近傍景観形成地区

巨大前方後円墳の周辺の第一種低層住居専用地域、または大仙風致地区に指定されている区域

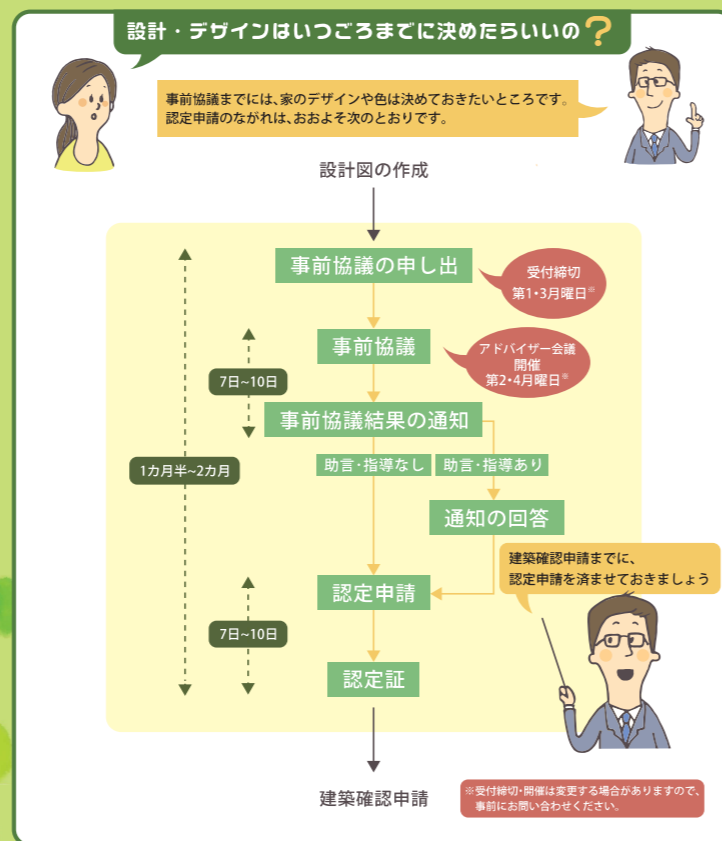
→ **すべての建築物が申請対象**

②古墳群周辺市街地景観形成地区

百舌鳥古墳群周辺景観地区に指定された区域のうち、上記古墳近傍景観形成地区を除く区域

→ **中規模以上の建築物が申請対象**
※高さ10m以上、延床面積500㎡以上の建築物に該当する建築物

認定申請のながれ



百舌鳥の景観ガイドライン



景観地区Q&A

設計士の僕がお答えします！

景観地区ってなあに？

景観地区とは、みんなで協力して、ステキなまちなみを作っていくために、建物のデザインや色などについて制限を定めた地区です。堺市では、百舌鳥古墳群周辺で、市民が地域への「誇り」を感じ、全国・世界の人々が「憧れ」を抱くまちをめざして、景観地区を決めています。

景観地区とは・・・

色・デザインなどに制限のある地区

堺市内のどこが景観地区なの？

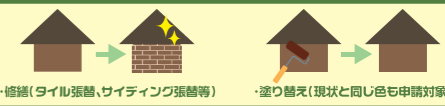
百舌鳥古墳群周辺景観地区は、右の地図の本枠内の地域です。景観地区の中にはさらに2つの区域に別れています。建物の大きさなどによって、堺市役所に申請の手続きが必要な場合があります。
*景観法第63条に基づく認定申請。



何をするとき申請が必要なの？

新築だけでなく、外観のリフォーム(外壁の色の塗り替え等)などにも申請が必要になります。いまと同じ色で外壁を塗りなおす場合でも、申請が必要なので注意してください。

外観のリフォーム



景観地区で家を建てる



景観地区内で家を建てたり、外壁の色を塗り替える場合いくつかルールがあります。設計士と相談しながら進めましょう。

堺市建築都市局 都市計画部 都市景観室
〒590-0079 堺市堺区南瓦町3番1
TEL:072-228-7432 FAX:072-228-8468

家づくりのチェックポイント

周辺のまちなみをよく観察し、調和させることが大切です。みんなが好きな色で建ててしまうと、ひとつだけ突き出た色が目立ったり、明るい色と暗い色のしましまのまちなみになってしまったりと、統一感のないまちなみとなってしまいます。このまちに住む皆さんでステキなまちなみをつくっていきましょう。

古墳群や周辺のまちなみとの調和が大切です。建物単体だけで考えず、まちなみとしてのデザインにも配慮しましょう。



わたしは、赤や黄色のキラキラしたおうちに住みたいな!



でも設計士さんが、古墳との調和が大切だと言ったよ。派手な色の家は古墳と合わないんじゃない?



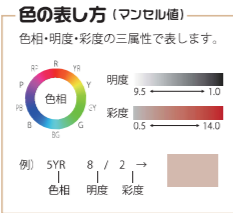
新しい家の唐りは落ち着いた品のある住宅が並んでいるし、古墳周辺だから、シックな茶色をベースにした家がいいわ。



色彩のチェックポイント

建物の色彩は、次の3つで考えましょう。

- ベースカラー**
家のもっとも大きな面積を占める色彩で、その建築物のイメージを決める色です。
- サブカラー**
ベースカラーよりも小さな面積で用いて、変化や個性を与える色です。ベースカラーとままり感のある同じような色相で、かつベースカラーとの明度差はおおむね2以下
- アクセントカラー**
デザインのアクセントとして、ごく小さな面積に使う色です。古墳との調和に配慮しつつ、効果的な配色によりアクセントとしての印象を強めます。



<まちなみと調和しやすい色の選び方>

- 色相をそろえる
周辺と色相をそろえて、明度や彩度に変化をつけてみる。
 - 色調をそろえる
周辺と色調をそろえて、色相に変化をつけてみる。
- *明度や彩度の組み合わせ



周辺のまちなみをよく観察し、調和させることが大切です。



バルコニー
ベランダで洗濯物を干す時は、道路から見えないように、腰高で干せるようにセットしましょう。

屋根
古墳は上から見る事が多いので、派手な色は避け、黒っぽい低明度低彩度の色を選びましょう。

建物の色彩
外観の色彩は緑豊かな古墳や周辺と調和するものを用い、住宅においては、できる限りあざやかさをおさえます。

植栽や外構
通りの印象には、それぞれの外構のしつらえが大きく影響します。殺風景な通りにならないよう、植栽や外構にも気を使いましょう。

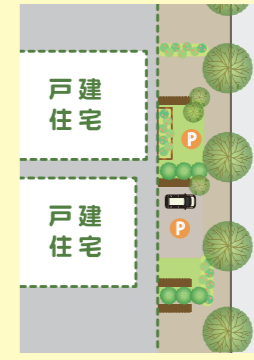
付帯設備
室外機などは、通りから見えないところにおくか、目隠し格子をするなどして、通りの景観に配慮しましょう。

フェンスなどを設置する場合は、前面道路から1m程度控え、植栽などを配置することで、ゆとりやうらおいのある通りを作ることができます。

通りに住む皆さんで緑を植え、ゆとりやうらおいのある空間を作っていきましょう



植栽・外構のチェックポイント



玄関のエントランス
玄関先は家の印象を決める顔となります。おもてなしの空間づくりとして、シンボルツリーなどを配し、タイルなどのしつらえも工夫しましょう。また、表札・郵便受けなど周辺の小物は、建物との調和を考慮することが大切です。

駐車スペース
殺風景になりやすい駐車スペースなどは、できる限り緑化ブロックや地被植物を植えるなど、通りの景観にうらおいを与えましょう。

隣地との敷際
敷際はなるべくオープン外構とするなど、前面に緑を配することで、通りとしての緑の連続性を意識しましょう。フェンスを設置する場合は、緑が映えやすい黒色やブラウン色などを選び、前面道路から1mほど控えるようにしましょう。

設計士さんの提案をいろいろ取り入れてみると、シックでかっこいい家が出来てきたね。

緑いっぱいでお家で自慢できるお家になったね。

我が家のような家が並ぶと... とてもステキなまちなみになりそうだな。

